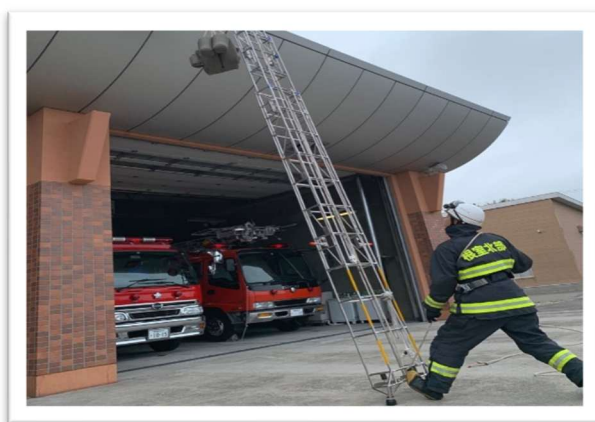


令和4年版

# 消防年報



中標津消防署



標津消防署



別海消防署



羅臼消防署

根室北部消防事務組合

# 町 成 構 織 組

## 革 沿 及 び 章 町

### 中標津町

庁舎所在地 丸山二丁目三二  
 電話〇一五三一七三三一一  
 郵便番号〇八六一一九七



町章 円は町民の和を表し、「中」の字を中心に三つの扇模様「シ」「ベ」「ツ」を圖案化している。

沿革 明治12年標津ほか五村戸長役場を設置。同34年9月植別村戸長役場を分離。大正12年4月二級町村制施行、村名を標津村とする。昭和21年標津村から分村して中標津村を設置。同25年1月町制施行、同30年4月別海の一部を編入。

### 別海町

庁舎所在地 別海常盤町二八〇  
 電話〇一五三一七五二一一  
 郵便番号〇八六一〇二〇五



沿革 町名別海はアイヌ語「ベツカイエ」（折れ曲がった川）から転訛したもの。

元禄年間より漁業をもって開け、初めは松前藩に属し、明治2年に九十余人の移住者を見る。明治12年別海ほか四村戸長役場を設置。同39年和田村（現根室市）の一部を編入。大正12年4月二級町村制施行、村名を別海村とした。昭和30年4月中標津町へ一部を分割。同46年4月町制施行。

### 標津町

庁舎所在地 北二条西二丁目一三  
 電話〇一五三一八二二一一  
 郵便番号〇八六一一六三二



町章 「シベツ」を圖案化し、海、山、川を表して伸び行く町の姿を象徴

沿革 町名標津はアイヌ語「シ・ベツ」（大きな川またはサケのいるところ）から出たもの。明治12年標津ほか六村戸長役場を設置。同34年植別村戸長役場を分離。大正12年4月二級町村制施行、村名を標津村とした。昭和21年7月中標津村を分村。同33年1月町制施行。

### 羅臼町

庁舎所在地 栄町一〇〇の八三  
 電話〇一五三一八七二一一  
 郵便番号〇八六一一八九二



町章 羅を中心にして「臼」を輪にして和を表し、和をもって町の発展を願ったもの。

沿革 町名羅臼はアイヌ語「ラウシ」（低い所または獣の骨のある所の意）から転訛したもの。この地一帯はアイヌの狩猟の地であったためこの名が起ったという。明治12年標津ほか六村戸長役場の管轄に属し、同34年これから分離して植別村戸長役場を設置、大正12年4月二級町村制施行、村名を植別村とした。昭和5年7月羅臼村と改称。同36年8月町制施行。

# は し が き

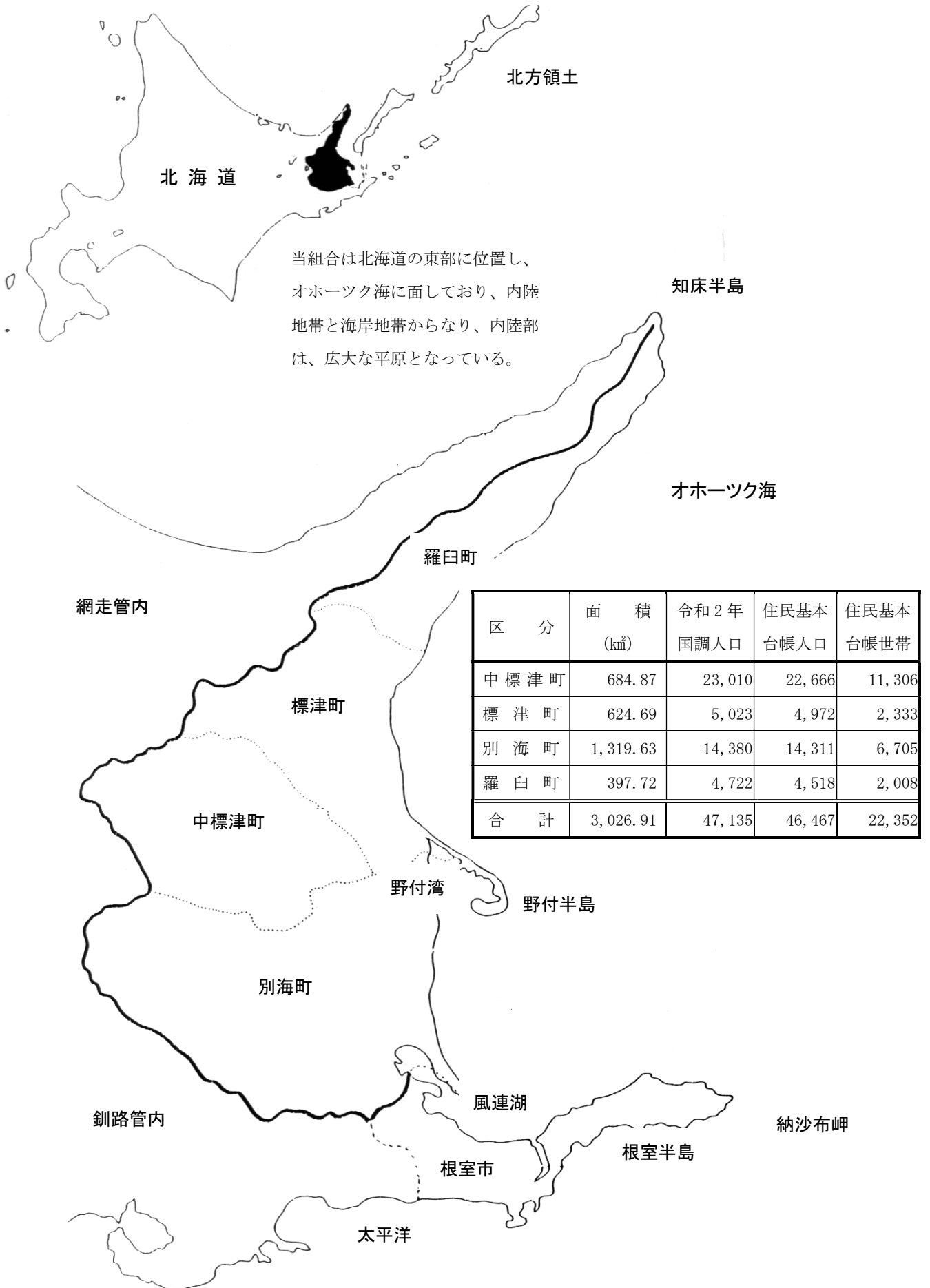
この消防年報は、根室北部消防事務組合における消防現勢と令和3年度中の消防業務の概要について収録したもので、今後の消防体制の整備及び消防行政執行上の参考とするため編集したものです。

根室北部消防事務組合

# 目 次

位置図及び管内図-----	1
消防機関配置図-----	2
<b>沿革-----</b>	<b>3</b>
<b>総務・警防</b>	
組合機構図-----	10
組合予算・構成町予算及び人口世帯数に対する比較-----	11
消防予算・職員・施設等の推移-----	12
消防職員配置状況・階級別年齢-----	13
消防職員階級別勤続年数・町勢と消防現有勢力との比較-----	14
消防職員各種免許取得並びに講習修了者-----	15
消防団員配置状況-----	16
消防団員階級別年齢・消防団員階級別勤続年数・消防団員任免状況-----	17
消防職員・消防団員教育状況-----	18
消防自動車等現有状況-----	19
消防資機材保有状況-----	20
消防水利状況-----	21
消防無線及び通信設備等の状況-----	22
<b>救急・救助</b>	
救急出動件数-----	23
救助体制等・救助出場件数・救助出場人員数-----	24
<b>火災統計</b>	
火災発生件数・月別火災発生件数-----	25
出火時間別火災発生件数・主な原因-----	26
<b>予防・危険物</b>	
危険物製造所等の施設数・危険物製造所等処理状況-----	27
各種届出書処理状況-----	28
防火対象物状況-----	29
防火管理者該当対象物状況-----	30
消防用設備等設置対象物数-----	31
<b>協力団体・応援協定-----</b>	<b>32</b>

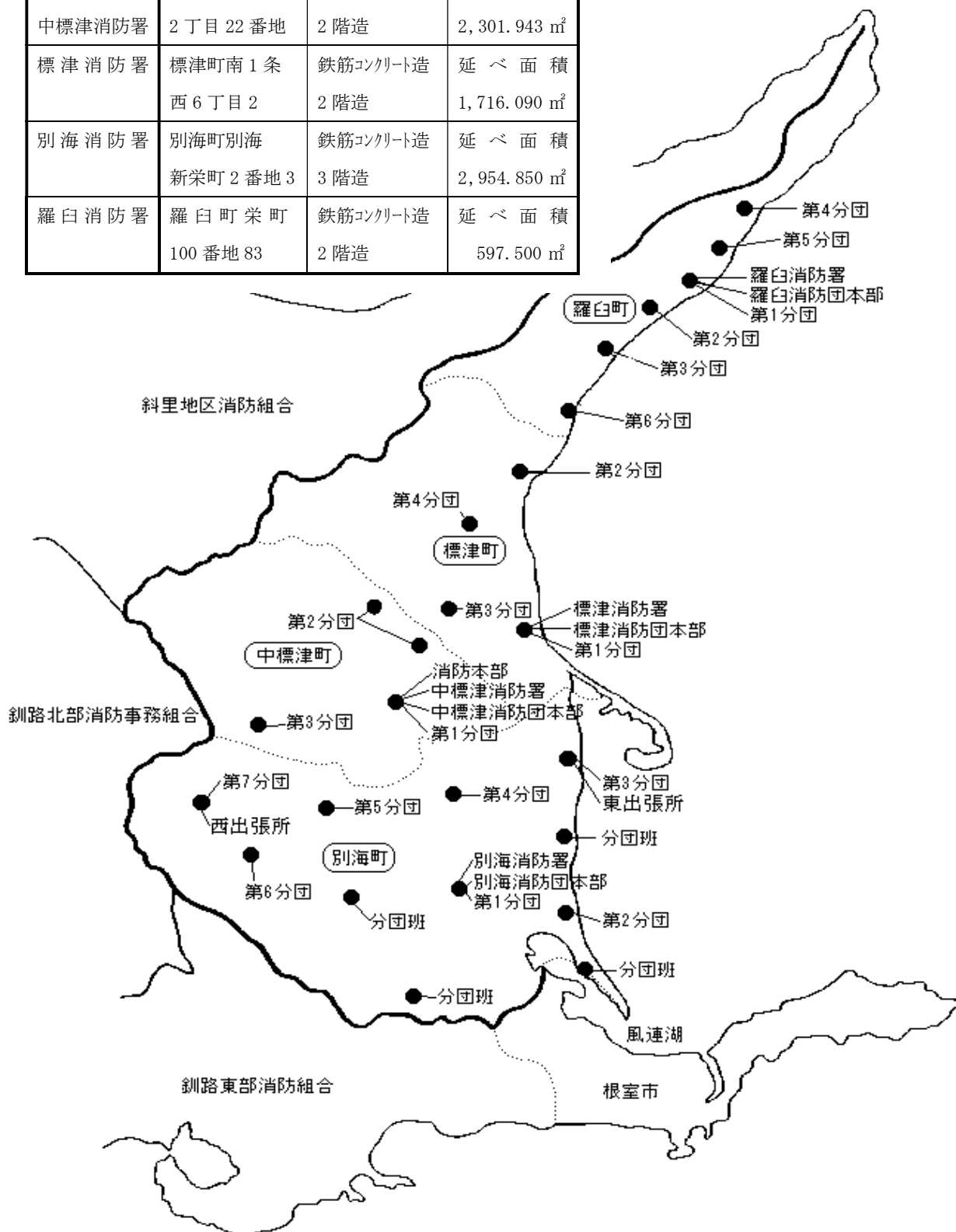
## 位置図及び管内図



## 消防機関配置図

消防本部・消防署の所在地及び概要（令和4年4月1日現在）

	所在地	構造	面積
消防本部	中標津町丸山	鉄筋コンクリート造	延べ面積
中標津消防署	2丁目22番地	2階造	2,301.943㎡
標津消防署	標津町南1条 西6丁目2	鉄筋コンクリート造 2階造	延べ面積 1,716.090㎡
別海消防署	別海町別海 新栄町2番地3	鉄筋コンクリート造 3階造	延べ面積 2,954.850㎡
羅臼消防署	羅臼町栄町 100番地83	鉄筋コンクリート造 2階造	延べ面積 597.500㎡



# 浴 革

## 沿 革

経 過																				
昭和 47 年	4 月 1 日 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 標津町、中標津町、羅臼町の 3 町により根室北部消防事務組合設立</li> <li>(1) 消防本部及び根室北部消防署（標津郡標津町字標津 14 番地の 1）</li> <li>(2) 中標津消防署（標津郡中標津町大通り北 4 丁目 1 番地の 1）</li> <li>(3) 羅臼支署（目梨郡羅臼町栄町 100 番地の 83）</li> <li>①消防職員数               <table style="margin-left: 20px; border: none;"> <tr> <td>消防本部</td> <td>2</td> <td>（兼務 5）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>根室北部消防署</td> <td>10</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>中標津消防署</td> <td>17</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>羅臼支署</td> <td>11</td> <td></td> <td>計 40 名</td> </tr> </table> </li> <li>②ポンプ車数               <table style="margin-left: 20px; border: none;"> <tr> <td>4 台</td> <td>救急車</td> <td>3 台</td> </tr> </table> </li> <li>・ 3 町の消防団は、根室北部消防事務組合の所轄となる</li> <li>・ 初代組合長に小野 幸三（標津町長）が就任、消防長を兼ねる</li> <li>・ 根室北部消防署 初代署長 小野 幸三 就任</li> <li>・ 中標津消防署 初代署長 川口 正 就任</li> <li>・ 羅臼支署 初代支署長 小野寺 賢治 就任</li> <li>・ 標津消防団長 望月 喜司雄（第 15 代）</li> <li>・ 中標津消防団長 菊池 養之助（第 3 代）</li> <li>・ 羅臼消防団長 山下 治（第 3 代）</li> <li>・ 昭和 47 年臨時議会を開き諸条例制定及び予算決議等を決議する</li> <li>・ 根室北部消防事務組合設立記念祝賀会開催（標津町中央公民館）</li> </ul>	消防本部	2	（兼務 5）		根室北部消防署	10			中標津消防署	17			羅臼支署	11		計 40 名	4 台	救急車	3 台
消防本部	2	（兼務 5）																		
根室北部消防署	10																			
中標津消防署	17																			
羅臼支署	11		計 40 名																	
4 台	救急車	3 台																		
	5 月 2 2 日																			
	6 月 3 0 日																			
昭和 48 年	7 月 1 日 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第 1 回 昭和 47 年組合議会定例会にて諸条例制定</li> </ul>																			
	8 月 4 日																			
	1 0 月 1 2 日																			
	7 月 8 日																			
昭和 49 年	4 月 1 日 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道に消防本部、消防署業務開始報告</li> <li>・ 第 2 代消防長に村上 昭吉（標津町長）就任</li> <li>・ 羅臼消防団第 4 分団に小型ポンプ積載車導入</li> <li>・ 標津消防団第 1 分団に消防ポンプ車増強</li> <li>・ 根室北部消防事務組合火災予防条例全文改正</li> <li>・ 別海町が組合に編入され、別海宮舞町 62 番地に別海消防署を置く 〔消防職員数 66 名、消防ポンプ車 5 台、救急車 4 台〕</li> <li>・ 別海消防署 初代署長 臼杵 萬 就任</li> <li>・ 別海町消防団を根室北部消防事務組合別海消防団に改称</li> <li>・ 別海消防団長 小林 昭二（第 6 代）</li> <li>・ 羅臼消防団第 2 分団に小型動力ポンプ積載車導入</li> <li>・ 別海消防団が北海道知事表彰旗を受賞する</li> </ul>																			
	6 月 6 日																			
	1 0 月																			
昭和 50 年	5 月 2 4 日 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 羅臼定置部会から羅臼支署に水槽付消防ポンプ車が寄贈される</li> </ul>																			
	8 月 2 1 日																			
昭和 51 年	5 月 2 9 日 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農協共済連から中標津消防署に救急自動車が寄贈され 2 台体制となる</li> </ul>																			
	6 月 1 日																			
	8 月 1 8 日																			
	1 1 月 1 5 日																			
	1 2 月 2 0 日																			
昭和 52 年	4 月 1 日 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 消防本部を標津町から中標津町に移転（中標津町大通り北 3 丁目）</li> <li>・ 組合長に村田 雄平（中標津町長）就任</li> <li>・ 第 3 代消防長に黒田 茂樹 就任</li> <li>・ 根室北部消防署長に有路 寛一 就任</li> <li>・ 中標津消防署長に大内 慶治 就任</li> <li>・ 日本損害保険協会から標津消防団に消防ポンプ車が寄贈される</li> </ul>																			
	9 月 1 9 日																			
昭和 53 年	3 月 1 3 日 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 別海消防団第 7 分団に水槽付消防ポンプ車導入</li> <li>・ 別海消防団第 2 分団に消防ポンプ車導入</li> <li>・ 羅臼支署長に兼平 清治 就任</li> <li>・ 羅臼消防団第 3 分団峯浜班に小型ポンプ積載車導入</li> </ul>																			
	4 月 1 日																			
	4 月 1 日																			
	4 月 1 日 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 別海消防署に救急車を増強し 2 台体制となる</li> <li>・ 第 16 代標津消防団長に川畑 貞三 就任</li> </ul>																			



昭和 53 年	10 月 5 日	・ 羅臼支署に消防ポンプ車導入
	10 月 7 日	・ 中標津消防団第 3 分団に水槽付消防ポンプ車導入
	12 月 19 日	・ 根室北部消防署に除雪用タイヤショベル導入
昭和 54 年	5 月 29 日	・ 羅臼支署に隊員搬送車導入
	6 月 13 日	・ 別海消防署に広報車導入
昭和 55 年	8 月 28 日	・ 中標津消防団員定数を「150」から「130」に変更 ・ 別海消防団員定数を「300」から「280」に変更
	12 月 12 日	・ 羅臼消防庁舎新築落成 (RC 造り一部 2 階 597.5 m <sup>2</sup> )
昭和 56 年	1 月 1 日	・ 根室北部消防署を標津消防署に改称 ・ 羅臼支署を羅臼消防署に改称
	6 月 10 日	・ 羅臼漁業協同組合から羅臼消防署に小型ポンプ付水槽車が寄贈される
昭和 57 年	3 月 9 日	・ 釧路東部消防組合と相互応援協定締結
	3 月 10 日	・ 釧路北部消防事務組合と相互応援協定締結
	3 月 19 日	・ 根室市と相互応援協定締結
	4 月 1 日	・ 第 17 代標津消防団長に新川 由衛 就任
	5 月 30 日	・ 中標津消防団第 1 分団から中標津消防署に連絡車が寄贈される
昭和 58 年	1 月 1 日	・ 第 4 代羅臼消防団長に富山 富男 就任
	3 月 11 日	・ 中標津空港で YS11 型航空機墜落事故発生 (重傷 4 名中等症 27 名軽傷 21 名)
	3 月 21 日	・ 羅臼漁業協同組合から羅臼消防署に消防ポンプ車が寄贈される
	9 月 22 日	・ 根室海上保安部・羅臼海上保安部と業務協定締結
	9 月 26 日	・ 斜里地区消防組合と相互応援協定締結
	9 月 29 日	・ 標津消防団第 3 分団に水槽付消防ポンプ車導入
	10 月 1 日	・ 根室海上保安部・羅臼海上保安部と船舶消火に関する業務協定締結
	12 月 28 日	・ 消防本部・中標津消防庁舎新築落成 (RC 造 2 階建て延べ面積 2,259.9 m <sup>2</sup> )
昭和 59 年	4 月 1 日	・ 別海消防署長に河原 孝良 就任 ・ 町立中標津保育園幼年消防クラブ発足
	9 月 30 日	・ 組合長に進藤 松吉 就任
昭和 60 年	1 月 1 日	・ 羅臼消防団第 1 分団の海岸班を第 5 分団に昇格
	4 月 1 日	・ 第 4 代消防長に茂古沼 浩一 就任 ・ 羅臼消防署長に上部 昭夫 就任
	9 月 11 日	・ 別海くるみ幼稚園幼年消防クラブ発足
	9 月 27 日	・ 中標津消防署に小型動力ポンプ付水槽車導入
昭和 61 年	4 月 1 日	・ 第 18 代標津消防団長に林 勇 就任 ・ 東中婦人防火クラブ発足
	4 月 24 日	・ 西春別駅前女性防火クラブ発足
	6 月 6 日	・ 中標津消防団搬送車更新
	7 月 31 日	・ 別海消防署に水槽車導入
	8 月 1 日	・ 根室北部消防少年婦人防火委員会設立
	8 月 26 日	・ 日本損害保険協会から中標津消防署に消防ポンプ車が寄贈される
	10 月 1 日	・ 武佐婦人防火クラブ発足
昭和 62 年	6 月 29 日	・ 別海消防署に 2 台目水槽車購入
	10 月 31 日	・ 農協共済連から中標津消防署に救急自動車が寄贈される
	12 月 10 日	・ 根室北部危険物安全協会設立発足
昭和 63 年	10 月 1 日	・ 救急医療情報システム導入
平成元年	4 月 1 日	・ 羅臼消防署長に平尾 進 就任 ・ 第 4 代中標津消防団長に殿守 省二 就任
平成 2 年	4 月 1 日	・ 第 5 代消防長に清水 和夫 就任 ・ 標津消防署長に黒田 義雄 就任 ・ 羅臼消防署長に太田 正昭 就任 ・ 根室北部消防事務組合消防団活性化総合対策計画策定 (団員の定年等) ・ 中標津空港と航空機事故に伴う消火救難活動に関する協定締結

平成2年	7月20日	・羅臼漁業協同組合から羅臼消防署に梯子付消防車（15m級）が寄贈される
	9月3日	・標津消防団員の定数を [135] から [140] に変更
	10月8日	・計根別婦人防火クラブ発足
	12月19日	・中標津消防団第2分団に消防ポンプ車導入
平成3年	4月1日	・別海消防団第7分団に水槽車導入
		・第6代消防長に大内 慶治 就任
		・第19代標津消防団長に水口 榮作 就任
		・北海道広域消防相互応援協定締結
	9月11日	・別海消防団第5分団に水槽車導入
	10月15日	・標津消防署に水槽車導入（10,000ℓ）
	10月17日	・中標津消防署に屈折梯子付消防ポンプ自動車導入（25m級）
	10月31日	・別海消防団第7分団に隊員搬送車導入（定員10名）
平成4年	4月1日	・羅臼消防署長に芦崎 一三 就任
		・中標津消防署長に小林 勇 就任
	7月30日	・別海消防団第3分団に隊員搬送車導入（定員10名）
	9月30日	・組合長に新出 實 就任
	10月28日	・別海消防団第4分団に水槽車導入（1,500ℓ）
	12月1日	・別海消防団女性消防団員運用開始 10名採用
平成5年	4月24日	・別海農業協同組合から別海消防署に水槽車2台が寄贈される
	5月9日	・中標津消防団第3分団に隊員搬送車導入（定員8名）
平成6年	3月28日	・根室北部危険物安全協会から根室北部消防事務組合に化学消防車が寄贈され中標津消防署に配置する
	4月1日	・標津認定こども園あおぞら幼年消防クラブ発足
	10月4日	・東方沖地震発生 震度5～6・管内184名負傷・損害額 22,590百万円
平成7年	2月1日	・第7代別海消防団長に河原 孝良 就任（消防署長兼任）
	3月22日	・中標津消防署に救助工作車導入
	3月24日	・第20代標津消防団長に山本 司 就任
	4月1日	・第7代消防長に藤谷 淨繁 就任
		・第5代中標津消防団長に高玉 光男 就任
		・中標津消防署長に高橋 源幸 就任
		・別海消防署長に織田 満 就任
		・川北認定こども園にじいろ幼年消防クラブ発足
	7月1日	・羅臼消防署長に加藤 勉 就任
	8月9日	・日本損害保険協会から中標津消防団に消防ポンプ車が寄贈される
平成8年	4月1日	・第8代消防長に小林 勇 就任
		・第5代羅臼消防団長に水落 紀男 就任
		・根室北部消防事務組合消防職員委員会に関する規則制定
		・第6代中標津消防団長に眞野 順三 就任
		・別海消防署西春別駅前分遣所を別海消防署西春別支署に改称
		・羅臼消防団第3分団峯浜班を第6分団に改称
平成9年	4月1日	・羅臼消防団定数を [145名] に改正
		・標津消防署長に本間 留次 就任
		・別海消防署長に吉田 一紀 就任
		・第8代別海消防団長に石戸谷 保 就任
		・しれとこ幼年消防クラブ発足
平成9年	4月8日	・救急救命東京研修所1名入所（中標津消防署）
平成10年	2月19日	・別海消防署高規格救急車導入
	3月26日	・中標津消防署高規格救急車導入
	3月30日	・西春別支署庁舎新築落成（RC造2階建て）
		・別海消防署に救急車を増強し3台体制となる
		・西春別支署救急業務開始

平成10年	4月7日	・救急救命東京研修所2名入所（中標津消防署・別海消防署）
	6月29日	・中標津消防団第1分団に資機材搬送車導入（定員10名）
	7月1日	・中標津消防署高規格救急車運用開始
	9月1日	・第6代羅臼消防団長に平藤 實 就任
	10月30日	・標津消防署に災害用救命ボート一艇導入
	11月10日	・西春別支署外溝工事
平成11年	2月1日	・標津消防団女性消防団員運用開始 10名採用
	2月10日	・別海消防署化学防護服2着購入
	2月22日	・別海消防署救急業務高度化救急救命資機材購入
	3月10日	・標津消防庁舎新築移転業務開始
	3月25日	・標津消防署庁舎オープン式
	4月1日	・中標津消防署長に中司 弘行 就任
		・標津消防署長に浜向 傑 就任
	4月7日	・救急救命東京研修所2名入所（中標津消防署・別海消防署）
	5月25日	・標津消防署に梯子付消防ポンプ自動車導入（10m級）
	8月30日	・別海消防署に災害用救命ボート一艇導入（定員5名）
	11月1日	・羅臼消防署長に平田 稔 就任
		・別海消防署待機宿舎（支署長宅）新築
平成12年	3月28日	・別海消防署資機材搬送車導入
	4月1日	・羅臼消防署機構改革により、管理課・警防課の2課体制となる
	4月10日	・救急救命東京研修所1名入所（別海消防署）
	4月18日	・有珠山噴火に伴う北海道広域相互応援協定に基づく応援隊派遣（隊員8名、車両2台）
	8月25日	・標津消防署高規格救急車導入
	10月1日	・根室北部消防事務組合被服に関する検討委員会により、消防職員の作業服が業務服に変更となる
	10月10日	・救急救命東京研修所1名入所（中標津消防署）
	10月25日	・別海消防署救急自動車導入
	12月13日	・標津消防署第2分団詰所新築
平成13年	3月16日	・中標津消防署消防緊急通信指令施設導入
		・中標津消防署消防無線基地局施設完成
	4月1日	・別海消防署長に吉田 利治 就任
		・羅臼消防署長に鹿又 利憲 就任
	10月10日	・救急救命東京研修所2名入所（標津消防署・別海消防署）
	10月18日	・別海消防団女性消防団員全国女性消防操法訓練大会出場（横浜市）
	12月28日	・中標津消防署屈折梯子自動車総合保守点検（分解整備）（9月3日～）
平成14年	3月19日	・羅臼消防団第3分団積載車導入
	4月1日	・第9代消防長に佐藤 隆 就任
		・消防長 佐藤 隆 消防大学校入校（5月8日～6月5日）
		・羅臼消防署麻布分遣所を廃止し第3分団詰所となる
平成15年	4月1日	・別海消防署長に河島 國弘 就任
		・第7代羅臼消防団長に森 慎吾 就任
	6月1日	・第7代中標津消防団長に吉田 貫一 就任
		・羅臼消防署機構改革により、予防課1課増により3課体制となる
平成15年	6月30日	・羅臼消防署高規格救急車導入
	10月7日	・救急救命東京研修所1名入所（別海消防署）
	12月21日	・別海消防署庁舎新築移転業務開始
		・別海消防署通信指令施設業務開始
平成16年	3月1日	・別海消防庁舎落成式
	4月1日	・別海消防署長に菅野 春江 就任
		・第21代標津消防団長に山崎 勲 就任

平成 16 年	9 月 3 0 日	・ 組合長に西澤 雄一 就任
	1 0 月 5 日	・ 救急救命研修所 1 名入所 (標津消防署)
	1 1 月 9 日	・ 別海消防庁舎外溝工事完成
	1 2 月 1 6 日	・ 中標津消防署高規格救急車が釧路市へ転院搬送中に交通事故発生、搬送中の傷病者 1 名死亡する
平成 17 年	2 月 8 日	・ 中標津消防署化学消防ポンプ車更新
	4 月 1 日	・ 標津消防署長に金田 良雄 就任
	4 月 2 1 日	・ 中標津消防署高規格救急車更新
	8 月 2 3 日	・ 中標津消防署指揮車更新
	9 月 2 9 日	・ 釧根開発(株)会長 松実 武夫氏から中標津消防団に指揮車が寄贈される
	1 1 月 1 4 日	・ 組合管内携帯 119 番中標津消防署受信及び各署転送開始
平成 18 年	3 月 3 1 日	・ 標津消防署川北分遣所を廃止し標津消防団第 3 分団詰所となる
	4 月 1 日	・ 第 10 代消防長に渡辺 忠 就任 ・ 別海消防署長に佐藤 博 就任 ・ 北海道消防協会根室地方支部事務局、根室市から移動になる
	5 月 2 2 日	・ 消防長 渡辺 忠 消防大学校入校 (5 月 22 日～6 月 3 日)
	6 月 1 3 日	・ 羅臼消防団第 4 分団小型ポンプ更新
	1 1 月 8 日	・ 全国共済農業協同組合連合会北海道支部から別海消防署に救急自動車が寄贈される
平成 19 年	4 月 1 日	・ 中標津消防署計根別分遣所の職員配置を廃止し、中標津消防団第 3 分団計根別詰所とする
	6 月 1 9 日	・ 中標津消防団第 1 分団小型ポンプ更新
平成 20 年	2 月 2 5 日	・ 別海消防団第 3 分団水槽付消防ポンプ自動車更新
	2 月 2 9 日	・ アステラス製薬から羅臼消防署に高規格救急車が寄贈される
	3 月 1 9 日	・ 別海消防署に救助工作車Ⅱ型導入
	4 月 1 日	・ 標津消防署長に秋山 政則 就任
	7 月 1 7 日	・ 羅臼消防団が北海道消防操法大会小型ポンプ操法に出場し優勝する
	9 月 3 0 日	・ 組合長に小林 実 就任
	1 0 月 1 2 日	・ 羅臼消防団が第 21 回全国消防操法大会小型ポンプ部門に出場し敢闘賞を受賞する
	1 0 月 1 5 日	・ 標津消防署搬送車更新
	1 1 月 7 日	・ 中標津消防署高規格救急車更新
	1 2 月 8 日	・ 定置漁業者 33 ヶ統 36 経営者から羅臼消防署に高規格救急車が寄贈される
	1 2 月 1 7 日	・ 別海消防団第 6 分団車庫新築
平成 21 年	3 月 1 8 日	・ 別海消防署に指揮車導入
	3 月 2 6 日	・ 別海消防署に小型動力ポンプ付水槽車Ⅱ型導入
	4 月 1 日	・ 第 11 代消防長に中司 弘行 就任 ・ 中標津消防署長に佐久間 貞夫 就任 ・ 第 22 代標津消防団長に波切 進一 就任 ・ 第 8 代羅臼消防団長に西山 修次 就任
	6 月 1 9 日	・ 中標津消防団第 3 分団搬送車更新
	9 月 2 8 日	・ 中標津消防署ポンプ自動車更新
	1 0 月 5 日	・ 道東ドクターヘリ運用開始
平成 22 年	1 月 1 9 日	・ 標津消防署除雪車更新
	3 月 2 9 日	・ 別海消防署高規格救急車導入
	4 月 1 日	・ 羅臼消防署長に濱澤 功 就任
	1 1 月 9 日	・ 中標津消防署小型動力ポンプ付水槽車更新
平成 23 年	3 月 2 2 日	・ 東北地方太平洋沖地震に伴う緊急消防援助隊北海道隊第 4 次隊 (救急部隊) に職員 3 名、高規格救急車 1 台派遣
	4 月 1 日	・ 別海消防署長に村上 悟 就任 ・ 春松幼年消防クラブ発足

平成 23 年	4 月 5 日	・東北地方太平洋沖地震に伴う緊急消防援助隊北海道隊第 8 次隊（後方支援部隊）に職員 2 名派遣
	4 月 9 日	・東北地方太平洋沖地震に伴う緊急消防援助隊北海道隊第 9 次隊（救急部隊）に職員 2 名、搬送車 1 台派遣
	4 月 17 日	・東北地方太平洋沖地震に伴う緊急消防援助隊北海道隊第 11 次隊（救急部隊）に職員 2 名派遣
	12 月 5 日	・標津消防署指揮車更新
平成 24 年	4 月 1 日	・第 12 代消防長に成田 義治 就任 ・中標津消防署長に森重 昭男 就任
	7 月 19 日	・別海消防団が北海道消防操法大会小型ポンプ操法に出場し優勝する
	9 月 7 日	・第 64 回北海道消防大会が中標津町で開催される
	10 月 7 日	・別海消防団が全国消防操法大会小型ポンプ部門に出場し敢闘賞を受賞する
	10 月 11 日	・中標津消防署搬送車更新
平成 25 年	3 月 3 日	・中標津町で雪害により 4 名死亡
	3 月 4 日	・中標津町で雪害により 1 名死亡
	3 月 13 日	・別海消防署高規格救急車更新
	3 月 14 日	・財団法人日本消防協会から中標津消防署に連絡車が寄贈される
	4 月 1 日	・標津消防署長に奥村 俊己 就任 ・第 23 代標津消防団長に千葉 元 就任 ・第 9 代別海消防団長に丹羽 謙司 就任 ・消防救急デジタル無線運用開始（羅臼消防署活動波を除く）
	7 月 8 日	・標津消防署連絡車更新
	12 月 21 日	・中標津消防団第 2 分団ポンプ自動車更新
平成 26 年	4 月 1 日	・中標津消防署長に杉本 秀 就任 ・第 8 代中標津消防団長に末田 昌隆 就任 ・標津消防署長に松実 吉計 就任 ・別海消防署長に滝吉 良治 就任
	6 月 27 日	・中標津消防団第 1 分団隊員搬送車を署車災害支援車として更新
	7 月 31 日	・別海消防署隊員搬送車更新
	8 月 12 日	・標津消防団第 3 分団積載車を隊員搬送車として更新
	10 月 15 日	・中標津消防団第 3 分団ポンプ自動車更新
	11 月 27 日	・別海消防団第 2 分団小型動力ポンプ積載車更新 ・別海消防団第 3 分団小型動力ポンプ積載車更新
	12 月 18 日	・羅臼消防団第 4 分団小型動力ポンプ積載車更新
平成 27 年	2 月 2 日	・羅臼町で雪害により自衛隊派遣要請
	2 月 25 日	・羅臼消防署水槽付ポンプ自動車更新
	3 月 19 日	・別海消防団第 2 分団ポンプ自動車更新
	3 月 29 日	・尾岱沼消防庁舎新築落成（RC 造 2 階建て）
	4 月 1 日	・第 13 代消防長に森重 昭男 就任 ・北海道防災航空室へ職員 1 名派遣（中標津消防署） ・尾岱沼消防庁舎新築移転業務開始
	10 月 1 日	・中標津消防団女性消防団員運用開始 7 名採用
	12 月 10 日	・標津消防署高規格救急車更新
平成 28 年	1 月 21 日	・羅臼消防団第 2 分団小型動力ポンプ積載車更新
	1 月 22 日	・羅臼消防署指令車を指揮車として更新
	2 月 25 日	・アナログ無線方式のサイレン施設をデジタル無線方式に更新（別海消防署）
	3 月 18 日	・高機能消防指令装置導入（中標津消防署） ・別海消防署小型動力ポンプ付大型水槽車更新 ・別海消防署小型動力ポンプ付水槽車更新

平成 28 年	4 月 1 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第 14 代消防長に杉本 秀 就任</li> <li>・中標津消防署長に合田 茂 就任</li> <li>・標津消防署長に柴田 俊一 就任</li> <li>・第 24 代標津消防団長に素利 敏春 就任</li> <li>・高機能消防指令装置運用開始（中標津消防署）</li> </ul>
	9 月 9 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・羅臼町で大雨により土砂災害が発生し 1 名死亡</li> </ul>
	9 月 16 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・標津消防団第 3 分団水槽付ポンプ自動車更新</li> </ul>
	9 月 30 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組合長に西村 穰 就任</li> </ul>
	10 月 1 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中標津消防署水槽付ポンプ自動車更新</li> </ul>
	11 月 9 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・別海消防団第 6 分団ポンプ自動車更新</li> </ul>
平成 29 年	1 月 27 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・別海消防署高規格救急車更新</li> </ul>
	3 月 23 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・J A 共済連から中標津消防署に救急自動車が寄贈され、2 次艤装し高規格救急車を更新する</li> <li>・中標津消防署高規格救急車（旧救急 1）を非常用救急自動車として配備</li> </ul>
	4 月 1 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第 15 代消防長に平間 健 就任</li> <li>・別海消防署長に山田 勝人 就任</li> <li>・第 9 代羅臼消防団長に鹿又 政義 就任</li> </ul>
	10 月 1 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中標津消防団第 1 分団ポンプ自動車更新</li> </ul>
	12 月 4 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・別海消防団第 1 分団中西別班小型動力ポンプ付積載車更新</li> <li>・別海消防団第 1 分団上風連班小型動力ポンプ付積載車更新</li> </ul>
平成 30 年	1 月 25 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・別海消防団第 3 分団小型動力ポンプ付水槽車導入</li> <li>・別海消防団第 7 分団小型動力ポンプ付水槽車更新</li> </ul>
	4 月 1 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・羅臼消防署長に白坂 俊夫 就任</li> <li>・北海道防災航空室への派遣が終了し職員 1 名が転入（中標津消防署）</li> </ul>
	9 月 19 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・別海消防団第 5 分団小型動力ポンプ付水槽車更新</li> </ul>
	12 月 13 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中標津消防団第 1 分団ポンプ自動車更新</li> </ul>
平成 31 年	1 月 16 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・別海消防団第 7 分団消防団員搬送車更新</li> </ul>
	3 月 7 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・別海消防団第 1 分団水槽付ポンプ自動車更新</li> </ul>
平成 31 年	4 月 1 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第 16 代消防長に岩谷 直仁 就任</li> <li>・中標津消防署長に豊間根 茂 就任</li> </ul>
令和元年	10 月 1 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・羅臼消防団女性消防団員運用開始 5 名採用</li> </ul>
令和 2 年	1 月 18 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・羅臼消防団第 6 分団小型動力ポンプ付積載車更新</li> </ul>
	1 月 21 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・標津消防団第 1 分団水槽付ポンプ自動車更新</li> </ul>
	3 月 24 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中標津消防署救助工作車Ⅱ型更新</li> </ul>
	4 月 1 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・別海消防署西春別支署を西出張所に、尾岱沼分遣所を東出張所に改称</li> </ul>
令和 3 年	3 月 22 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・別海消防署東出張所高規格救急自動車新規購入</li> </ul>
	4 月 1 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第 17 代消防長に下山 和夫 就任</li> <li>・標津消防署長に稲村 徳弥 就任</li> <li>・別海消防署東出張所救急業務開始</li> <li>・第 25 代標津消防団長に斉藤 誠 就任</li> <li>・第 10 代別海消防団長に木下 秀哉 就任</li> <li>・第 10 代羅臼消防団長に石田 清浩 就任</li> </ul>
令和 4 年	1 月 20 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・別海消防団第 4 分団消防ポンプ自動車更新</li> </ul>

# 総務・警防

# 根室北部消防事務組合機構図

令和4年4月1日現在

監 査 委 員	
識見者	阿 部 徹
議 選	佐 藤 初 雄

公 平 委 員	
大 形 幸 男	大 木 敏 道
半 田 雅 代	

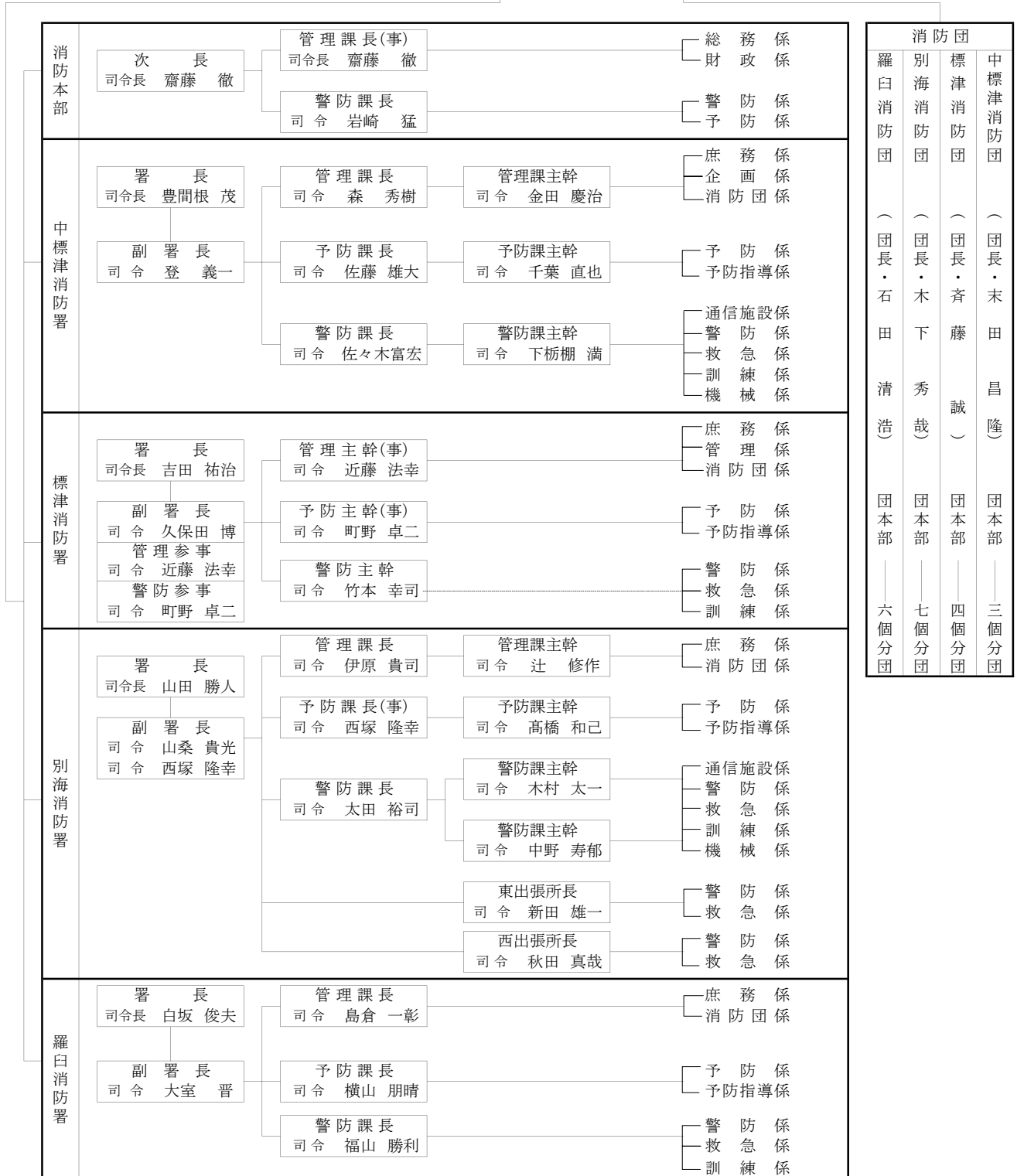
審 査 会 委 員	
佐々木 富 昭	笠 井 昭 義
丹 羽 大 地	大 目 峰 一

組 合 長	西 村 穰	(中標津町長)
副 組 合 長	山 口 将 悟	(標津町長)
副 組 合 長	曾 根 興 三	(別海町長)
副 組 合 長	湊 屋 稔	(羅臼町長)
副 組 合 長	遠 藤 俊 勝	(中標津町副町長)

組 合 議 会	
議 長	田 中 孝 幸
副 議 長	佐 藤 晶
(議員構成)	
中 標 津 町	(4名)
標 津 町	(4名)
別 海 町	(4名)
羅 臼 町	(4名)
計16名	

会 計 管 理 者	山 根 秀 徳
-----------	---------

消 防 長	下 山 和 夫
消 防 監	





## 令和4年度予算

歳入

歳出

(単位:千円)

款	項	金額	比率	款	項	金額	比率
分担金及び負担金		1,693,309	89.40%	議会費		588	0.03%
	負担金	1,693,309			議会費	588	
使用料及び手数料		700	0.04%	総務費		4,374	0.23%
	手数料	700			総務管理費	3,635	
財産収入		1,844	0.10%		監査委員費	739	
	財産運用収入	1,844			消防費	1,667,562	88.04%
諸収入		97	0.01%		常備消防費	1,252,664	
	組合預金利子	2			非常備消防費	122,711	
	雑入	95			消防施設費	292,187	
組合債		198,200	10.46%	公債費		221,326	11.68%
	組合債	198,200			公債費	221,326	
					予備費	300	0.02%
					予備費	300	
歳入合計		1,894,150		歳出合計		1,894,150	

## 構成町予算及び人口・世帯数に対する比較（令和4年度）

(単位:千円)

区分 町別	一般会計	構成町別	一般会計	人口	一人当り	世帯数	一世帯当り
	予算額	消防費負担額	との比率	(R4.4.1)	予算額	(R4.4.1)	予算額
中標津町	14,580,000	421,993	2.89%	22,666	19	11,306	37
標津町	6,510,000	324,365	4.98%	4,972	65	2,333	139
別海町	19,339,000	672,960	3.48%	14,311	47	6,705	100
羅臼町	5,270,096	273,991	5.20%	4,518	61	2,008	136
合計	45,699,096	1,693,309	3.71%	46,467	36	22,352	76

### 組合消防予算・職員・施設等の推移

年度別	消防予算 現額  (千円)	職 員 数					消 防 施 設 整 備 事 業										備 考	
		消 防 本 部	中 標 津 消 防 署	標 津 消 防 署	別 海 消 防 署	羅 白 消 防 署	計	水 槽 付 ボ ン プ 車	ポ ン プ 車	小 型 ボ ン プ 積 載 車	指 令 車 等	救 急 車	水 槽 車	小 型 ボ ン プ 車	防 火 水 槽	消 火 栓		
昭和47年度	109,180	2	17	10		11	40							2	2	3	消防庁舎改造	
昭和48年度	137,988	2	18	10		11	41								3	3	消防無線整備、分団詰所新設	
昭和49年度	283,059	2	21	13	19	11	66							1	3	3	分遣所新設×2、望楼新設	
昭和50年度	346,970	2	22	11	24	11	70							1	2	1	職員待機宿舎新設	
昭和51年度	371,755	6	22	13	24	11	76	1	2	1	1	2		4	8		サイレン装置、消防無線整備	
昭和52年度	446,313	6	23	13	24	13	79					1	1	2	5	7	分団詰所改築、車庫増築、車庫新築	
昭和53年度	527,545	6	24	13	25	15	83	1	1	2	1			1	6	5	職員待機宿舎、除雪車、分団詰所改築	
昭和54年度	585,681	6	25	16	27	15	89	1						2	4	6	職員待機宿舎、団員輸送車	
昭和55年度	716,640	6	27	16	28	16	93								1	4	5	羅白消防庁舎新設、分団詰所改築
昭和56年度	696,439	6	29	16	28	16	95		1		1	1	1		6	6	分団詰所改築	
昭和57年度	702,667	6	29	17	28	16	96		1						3	6	分遣所、分団詰所改築	
昭和58年度	1,316,932	6	29	17	28	17	97	2						1	2	9	中標津消防庁舎新設、分遣所新設	
昭和59年度	887,415	6	31	17	28	18	100								3	8	消防団詰所新設、職員待機宿舎新設	
昭和60年度	849,528	6	31	17	28	17	99				1	1				6	職員待機宿舎新設、分団詰所改築	
昭和61年度	922,978	6	32	18	28	17	101			1		1		3	10		搬送車、分団詰所改築×2	
昭和62年度	1,091,602	6	32	18	28	17	101	2		2	1	1	1		1	14	職員待機宿舎新設、分団詰所改築	
昭和63年度	1,062,598	6	32	18	28	17	101	1		1	3	2		1		10	サイレン施設整備、分団詰所改修	
平成元年度	1,131,109	6	33	18	28	17	102		1	1					2	6	消防庁舎改築、下水道工事、舗装工事	
平成2年度	1,261,353	6	34	18	28	18	104	1	1		1		1	1	2	6	はしご付消防車、非常呼出装置設備	
平成3年度	1,376,095	6	35	18	29	18	106	1	1				2	1	2	5	スノーケル車、分団詰所改築	
平成4年度	1,360,293	6	36	18	30	18	108	2		1	1		1	1	2	4	サイレン施設整備、消防署事務所新設	
平成5年度	1,423,360	6	38	18	31	19	112	1	1	1		1		2	2	4	水洗化工事、庁舎シャッター電動工事	
平成6年度	1,465,973	6	38	20	32	19	115	1		1				3	4	12	救助工作車、地震災害復旧無線設備	
平成7年度	1,421,826	6	40	20	35	19	120		1	1		2		1	3	13	サイレン施設整備、無線設備整備	
平成8年度	1,594,510	6	40	21	36	20	123	2		1	4			1	4	6	職員待機宿舎新設、分団詰所改築	
平成9年度	1,928,307	7	39	21	38	21	126		1	1	2			1	3	6	西春別支署新設	
平成10年度	2,462,262	7	42	23	41	23	136				2				2	5	標津消防庁舎新設	
平成11年度	1,753,948	7	42	22	43	23	137	1						1	2	4	はしご付消防車、職員待機宿舎新設	
平成12年度	1,925,622	7	42	22	45	23	139								2	1	8	通信指令施設整備、分団詰所新設
平成13年度	1,738,213	7	42	22	46	23	140		1	1					1	4	サイレン塔移設、標津庁舎外溝工事	
平成14年度	1,673,713	7	42	22	45	23	139		1						2		別海消防署庁舎新築、消防ポンプ購入	
平成15年度	2,595,970	7	42	22	46	23	140								4		別海消防署庁舎新築、高規格救急自動車購入	
平成16年度	1,636,488	7	42	22	46	24	141	1							5		別海消防署庁舎外構工事、化学消防ポンプ車購入	
平成17年度	1,505,909	7	42	21	45	23	138				2	1	1		3		高規格救急自動車、小型動力ポンプ付水槽車購入	
平成18年度	1,424,974	7	42	21	45	23	138						1	1	1	2	2B型救急車寄贈、小型動力ポンプ購入	
平成19年度	1,504,906	7	42	19	44	24	136						1	2	1	2	高規格救急車寄贈、小型動力ポンプ購入	
平成20年度	1,501,200	7	42	19	44	24	136					2	2	1		2	高規格救急自動車購入・寄贈、小型動力ポンプ付水槽車購入	
平成21年度	1,495,137	7	42	19	44	24	136		1						1	2	消防ポンプ自動車、小型動力ポンプ購入	
平成22年度	1,479,501	7	42	19	45	24	137						1			3	小型動力ポンプ付水槽車購入	
平成23年度	2,912,771	7	44	20	46	24	141				1					2	指揮車購入	
平成24年度	2,873,344	7	42	20	46	24	139					3	1		1		隊員搬送車購入、通信指令施設整備	
平成25年度	1,445,026	7	42	20	46	24	139		1		2			1		1	消防ポンプ自動車、小型動力ポンプ購入	
平成26年度	1,611,648	7	43	20	46	24	140	1	1	3	3					2	消防ポンプ自動車、災害支援車、隊員搬送車購入	
平成27年度	1,774,666	7	43	21	46	24	141				1	1	1	2		1	高機能消防指令装置整備、尾岱沼消防庁舎新設	
平成28年度	1,727,175	7	43	21	48	24	143	2	1				2			4	消防ポンプ自動車購入、高規格救急自動車寄贈・装備品購入	
平成29年度	1,668,417	7	44	22	49	24	146		1	2			2			3	消防ポンプ自動車、小型動力ポンプ付積載車、小型動力ポンプ付水槽車購入	
平成30年度	1,699,037	7	44	21	51	24	147	1	1		1		1			2	消防ポンプ自動車、小型動力ポンプ付水槽車、隊員搬送車購入	
令和元年度	1,865,135	7	43	22	53	25	150	1		1						2	救助工作車購入、水槽付消防ポンプ自動車、小型動力ポンプ付積載車	
令和2年度	1,733,049	7	43	22	55	24	151										高規格救急自動車購入×2、職員待機宿舎新設	
令和3年度	1,713,788	7	42	23	55	24	151									1	消防ポンプ自動車購入、職員待機宿舎新設	

## 消防職員配置状況

(令和4年4月1日現在)

階級 所属	消 防 吏 員							事務職員	会計年度 任用職員	計	定 数
	消防監	司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	消防士				
消 防 本 部	1	1	1	3	1				1	8	7
中標津消防署		1	7	12	4	10	8			42	42
標 津 消 防 署		1	4	3	2	5	8			23	23
別 海 消 防 署		1	10	14	10	12	8			55	55
羅 臼 消 防 署		1	4	12	1	2	4			24	26
計(人)	1	5	26	44	18	29	28		1	152	153

会計年度任用職員は定数外

## 消防職員階級別年齢

(令和4年4月1日現在)

階級別 年齢別	消 防 監	司 令 長	司 令	司 令 補	士 長	副 士 長	消 防 士	事 務 職 員	計
20 歳 未 満							3		3
20歳以上25歳未満							21		21
25 " 30 "						16	4		20
30 " 35 "					5	13			18
35 " 40 "				4	12				16
40 " 45 "			1	29	1				31
45 " 50 "			13	11					24
50 " 55 "		2	6						8
55 歳 以 上	1	3	6						10
計(人)	1	5	26	44	18	29	28		151
年 齢 合 計	59	280	1,296	1,873	647	845	626		5,626
平 均	59.0	56.0	49.8	42.6	35.9	29.1	22.4		37.3

## 消防職員階級別勤続年数

(令和4年4月1日現在)

階級別 年数区分	消防 監	司 令 長	司 令	司 令 補	士 長	副 士 長	消 防 士	事 務 職 員	計
1 年 未 満							5		5
1 年 以 上 5 年 未 満							20		20
5 " 10 "					1	20	3		24
10 " 15 "					12	9			21
15 " 20 "				7	5				12
20 " 25 "			1	24					25
25 " 30 "			11	12					23
30 " 35 "		2	8	1					11
35 年 以 上	1	3	6						10
計(人)	1	5	26	44	18	29	28		151
年数合計	41	178	798	1020	250	243	66		2,596
平均	41	35.6	30.7	23.2	13.9	8.4	2.4		17.2

## 町勢と消防現有勢力との比較

(令和4年4月1日現在)

構成町	消防職員1名に対して			消防団員1名に対して			ポンプ自動車1台に対して		
	面積	世帯数	人口	面積	世帯数	人口	面積	世帯数	人口
中標津	16.3	269.2	539.7	6.0	99.2	198.8	68.5	1,130.6	2,266.6
	42 名			114 名			10 台		
標津	27.2	101.4	216.2	6.1	22.7	48.3	124.9	466.6	994.4
	23 名			103 名			5 台		
別海	24.0	121.9	260.2	5.6	28.4	60.6	120.0	609.5	1,301.0
	55 名			236 名			11 台		
羅臼	16.6	83.7	188.3	3.0	15.1	34.0	132.6	669.3	1,506.0
	24 名			133 名			3 台		
本部	7 名								
合計	20.0	148.0	307.7	5.2	38.1	79.3	104.4	770.8	1,602.3
	151 名			586 名			29 台		

## 消防職員各種免許取得並びに講習修了者

(令和4年4月1日現在)

種 別			区 分	合 計	消 防 吏 員 階 級 別						
					消防監	司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	消防士
自 動 車 免 許	大 型	第 一 種	130	1	5	26	44	18	27	9	
		第 二 種									
	普 通	第 一 種	150	1	4	26	44	18	29	28	
		第 二 種									
	大 型 特 殊	第 一 種	29	1	2	9	9	3	4	1	
		けん引	1		1						
自 動 二 輪		32	1	2	9	14	2	2	2		
自 動 車 整 備 士	2 級	1			1						
	3 級	1		1							
自 動 車 整 備 管 理 者			22		3	8	8	2	1		
危 険 物 取 扱 者	乙 種	59		1	17	25	7	5	4		
	丙 種	7		1	3	2	1				
無 線 従 事 者 免 許			97	1	5	26	37	4	7	17	
消 防 設 備 士 免 状			18		1	6	8	2	1		
救 急 隊 員 資 格	I 課 程	15	1	4	9	1					
	II 課 程	21	1	5	14	1					
	標 準 課 程	42			12	30					
	救 急 科	28				1	7	12	8		
救 急 救 命 士 資 格			63		3	5	14	11	17	13	
酸 素 欠 乏 危 険 作 業 主 任 者			40	1	4	12	15	5	3		
酸 素 欠 乏 ・ 硫 化 水 素 危 険 作 業 主 任 者			48	1	2	15	22	5	3		
玉 掛 技 能 講 習 修 了 者			74	1	2	17	29	14	10	1	
小 型 移 動 式 クレーン 修 了 者			74	1	2	17	29	14	10	1	
ガ ス 溶 接 技 能 修 了 者			8	1	2	3	1	1			
潜 水 士			10			3	2	3	1	1	
衛 生 管 理 者 免 許			2	1		1					
小 型 船 舶 操 縦 士			44		3	19	18	3		1	
2 級 ボ イ ラ ー 資 格			3			1	2				
車 両 系 建 設 機 械 技 能 講 習 修 了 者			20		1	9	3	2	4	1	
フ ォ ー ク リ フ ト 運 転 技 能 講 習 修 了 者			3			1	1			1	
防 災 士			4			3	1				
特 定 化 学 物 質 作 業 主 任 者			6		1	1	4				

## 消防団員配置状況

(令和4年4月1日現在)

所 属		階級別							
		団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	計
中 標 津 消 防 団	団 本 部	1	3	1		1	1 (1)	9 (9)	16 (10)
	第 1 分 団			1	2	4	8	28	43
	第 2 分 団			1	2	4	8	13	28
	第 3 分 団			1	1	4	8	13	27
	計	1	3	4	5	13	25 (1)	63 (9)	114 (10)
標 津 消 防 団	団 本 部	1	3	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	5 (5)	13 (9)
	第 1 分 団			1	1	4	8	8	22
	第 2 分 団			1	1	2	4	4	12
	第 3 分 団			1	1	4	7	25	38
	第 4 分 団			1	1	2	4	10	18
	計	1	3	5 (1)	5 (1)	13 (1)	24 (1)	52 (5)	103 (9)
別 海 消 防 団	団 本 部	1	3			1 (1)	2 (2)	7 (7)	14 (10)
	第 1 分 団			1	1	4	8	27	41
	第 2 分 団			1	1	2	5	26	35
	第 3 分 団			1	1	3	6	24	35
	第 4 分 団			1	1	3	5	20	30
	第 5 分 団			1	1	2	4	14	22
	第 6 分 団			1 (兼務)	1	2	4	14	21
	第 7 分 団			1	1	3	6	27	38
	計	1	3	6	7	20 (1)	40 (2)	159 (7)	236 (10)
羅 臼 消 防 団	団 本 部	1	3				1 (1)	5 (5)	10 (6)
	第 1 分 団			1	1	3	7	13	25
	第 2 分 団			1	1	3	6	13	24
	第 3 分 団			1	1	3	5	11	21
	第 4 分 団			1	1	2	3	10	17
	第 5 分 団			1	1	2	3	13	20
	第 6 分 団			1	1	2	3	9	16
	計	1	3	6	6	15	28	74 (5)	133 (6)
合 計		4 (0)	12 (0)	21 (1)	23 (1)	61 (2)	117 (4)	348 (26)	586 (35)

( )内は女性消防団員

## 消防団員階級別年齢

(令和4年4月1日現在)

階級別 年齢	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
20歳未満							2	2
20歳以上25歳未満							16	16
25"30"					1	2	43	46
30"35"						5	53	58
35"40"					5	14	77	96
40"45"			1	1	5	24	58	89
45"50"			1	2	11	23	54	91
50歳以上	4	12	19	20	39	49	45	188
計(人)	4	12	21	23	61	117	348	586
年齢合計	258	721	1,186	1,284	3,165	5,471	13,576	25,661
平均	64.5	60.1	56.5	55.8	51.9	46.8	39.0	43.8

## 消防団員階級別勤続年数

(令和4年4月1日現在)

階級別 年数	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
5年未満						2	93	95
5年以上10年未満					3	12	101	116
10"15"					4	23	72	99
15"20"					9	31	37	77
20"25"			3	5	10	21	16	55
25"30"		1	6	5	13	13	14	52
30"35"		3	5	6	13	11	10	48
35年以上	4	8	7	7	9	4	5	44
計(人)	4	12	21	23	61	117	348	586
年数合計	165	446	671	699	1,574	2,232	3,565	9,352
平均	41.3	37.2	32.0	30.4	25.8	19.1	10.2	16.0

## 消防団員任免状況

(令和3年度中)

階級別 所属	任用	退職	昇格	合計
中標津消防団	2	3	5	10
標津消防団	0	7	8	15
別海消防団	7	9	9	25
羅臼消防団	7	10	15	32
合計	16	29	37	82

## 消防職員・消防団員教育状況

(令和3年度中)

教育課程		所属・職員数	消防本部	中標津消防署	標津消防署	別海消防署	羅臼消防署	計	
消防職員に 対する教育	消防大学校	新任消防長課程							
		初任教育			2		1	3	
	専科教育		警防科				1		1
			予防査察科		1		1		2
			危険物科						
			火災調査科			1			1
			救急科		1	1	1		3
			救助科					1	1
		幹部教育	幹部教育指揮幹部科						
	特別教育		ポンプ操法指導員課程		1		1		2
			はしご自動車運用課程					2	2
			水難救助課程						
			大規模災害広域応援現場指揮課程				1		1
	M/C関係特別教育		ビデオ硬性挿管用喉頭鏡認定講習				1		1
			処置拡大2行為講習		1		2		3
消防団員教育	基礎教育								
	幹部教育指揮幹部科								
	特別教育	女性団員課程							
		ドローン講習							
		オフロードバイク講習							
合計			4	4	8	4	20		



# 消防自動車等現有状況

(令和4年4月1日現在)

所 属		車 種		消防ポンプ車(CDI)	消防ポンプ車(CDII)	消防ポンプ車(BD型)	水槽付消防ポンプ車	小型動力ポンプ付水槽車	救 助 工 作 車	屈折はしご付消防ポンプ自動車	はしご付消防ポンプ車	化学消防ポンプ車	II B 型 救 急 自 動 車 車	高 規 格 救 急 自 動 車 車	小 型 動 力 ポ ン プ 積 載 車 車	水 槽 車 ( 小 型 ) 4t 未 満	水 槽 車 ( 中 大 型 ) 4t 以 上	指 揮 車	広 報 車	連 絡 車	除 雪 車	搬 送 車	そ の 他 業 務 車	合 計	小 型 動 力 ポ ン プ 数		
消 防 本 部																											
中 標 津 町	消 防 署	1			1	1	1	1	1		1			3				1		2					12		
	消 防 団	団 本 部																1								1	
		第 1 分 団	2																					1		3	
		第 2 分 団	1													1										2	
		第 3 分 団	1			1																		1		3	
	小 計	5			2	1	1	1	1		1			3	1			2		2			2		21		
標 津 町	消 防 署				1	1					1			2				1		1	1	1	1	1	10		
	消 防 団	第 1 分 団		1	1																					2	2
		第 2 分 団														1										1	
		第 3 分 団		1	1													1						1		4	
		第 4 分 団														1										1	
	小 計		2	3	1						1			2	2		1	1		1	1	2	1	1	18	2	
別 海 町	消 防 署				4	4	1						1	4				1	1	3		1	1		21		
	消 防 団	第 1 分 団			1											2										3	2
		第 2 分 団		1												1										2	2
		第 3 分 団				1	1									1								1		4	2
		第 4 分 団		1			1																			2	1
		第 5 分 団				1	1																			2	1
		第 6 分 団		1																						1	1
	小 計		3	8	8	1							1	4	4			1	1	3		3	1		38	9	
羅 白 町	消 防 署		1		1	1					1			3				1							8	2	
	消 防 団	第 1 分 団	1																							1	1
		第 2 分 団														1										1	1
		第 3 分 団														1										1	3
		第 4 分 団														1										1	1
		第 5 分 団														1										1	2
		第 6 分 団														1										1	1
小 計	1	1		1	1					1			3	5			1							14	11		
合 計		6	6		14	11	2	1	2	1	2	1	1	12	12		1	5	1	6	1	7	2	91	22		

※はしご付消防ポンプ車に小型動力ポンプ付を含む

# 消防資機材保有状況

(令和4年4月1日現在)

資機材名		中標津	標津	別海	羅臼	合計	資機材名		中標津	標津	別海	羅臼	合計	
消火用器具	フログガン	4	3	3	4	14	測定用器具	可燃性ガス測定器	1	1	3	1	6	
	プロジェクトガン	1			1	2		放射線測定器	1					1
	ディフェンスノズル			1		1		酸素濃度測定器	1					1
	発泡ノズル	9	4	9	3	25	水難救助用器具	救命胴衣	15	31	85	52	183	
	背負式ポンプ	47	1	1	6	55		救命浮環	10	4	13	3	30	
	簡易水槽	3	4	8	3	18		救命ボート	2	1	2		5	
								救命ボート用船外機		1	2			3
照明器具	発電機1kw未満	17	6	19	3	45	水中投光器	5		4			9	
	発電機1kw以上	6	2	9	15	32							0	
	ハンドライト(LED含む)	100	98	105	38	341	かぎ付はしご	3		3	1		7	
破壊器具	万能斧	7	2	15	4	28	一般・他救助用器具	二連はしご	7	7	12	8	34	
	ハンマードリル	1		1		2		三連はしご	5	3	4	2	14	
	削岩機	1		1		2		救助マット	2	1	2		5	
	ストライカー	1		4		5		救命索発射銃	1		1		2	
								救助用担架	9	1	4	2	16	
切断用器具	大型油圧切断機	2	1	4	1	8		緩降機	2	1	2		5	
	空気切断機	1		1	1	3		投光器(LED含む)	31	7	38	18	94	
	空気鋸	2		1	1	4		携帯無線機	21	9	20	13	63	
	エンジンカッター	4	2	4	2	12		防塵めがね		3	55	24	82	
	チェンソー	2	1	4	4	11		トランシーバー	30		55	27	112	
	ガス溶断機					0	簡易画像探索機	1				1		
	鉄線カッター	4		11	1	16	気道確保用資機材一式	4	2	5	3	14		
	エアーツール	2		1	1	4	半自動式除細動器	3	2	5	3	13		
	コンビネーションツール	2		3	1	6	自動式心肺蘇生装置	1		4	2	7		
	重量物用器具	大型油圧ジャッキ	2		2	3	7	高度救命用資機材	輸液用資機材一式	4	2	5	3	14
大型油圧スプレッダー		2	1	3	1	7	血中酸素飽和度測定器		7	2	14	3	26	
可般式ウインチ		4	2	4	1	11	ショックパンツ		2	1	4		7	
マット式空気ジャッキ		2	1	2	3	8	心電計		1		6		7	
							心電図伝送装置							
保護用器具	化学防護服	23	6	42	8	79	その他	心電図受信装置						
	耐熱防護服	2		2		4		患者監視装置	2	2	5	3	12	
	耐電用防護服	7	5	2	2	16		油処理剤(ℓ)	280	60	178	120	638	
	防毒衣	2		6		8								
	空気呼吸器	40	11	27	11	89								
	空気予備ボンベ	101	16	90	20	227								
	酸素呼吸器	5		5		10								
	空気充填機	2	1			3								
	送排風機	3		5		8								
	防じんマスク	52	20	33	30	135								

# 消防水利状況

(令和4年4月1日現在)

地域名 水利	合 計	消 火 栓								防 火 水 槽							
		小 計	補 助	単 独	寄 贈	私 設	他	双 口	単 口	小 計	補 助	単 独	寄 贈	私 設	他	40 m <sup>3</sup> 未 満	40 m <sup>3</sup> 以 上
合 計	819	622		399	82	5	136	2	620	197	9	158	3	7	20	26	171
中標津町	300	227		134	79	3	11	2	225	73	4	46	3	7	13	4	69
中 標 津	265	212		131	78	3		2	210	53	2	39	3	5	4	1	52
計 根 別	25	15		3	1		11		15	10	2	5			3	1	9
中 央 武 佐	1									1		1				1	
上 武 佐	1									1				1			1
養 老 牛	1									1		1				1	
当 幌	1									1				1			1
開 陽	1									1				1			1
若 竹	1									1				1			1
南 中 標 津	1									1				1			1
依 橋	2									2				1	1		2
り ん ど う	1									1				1			1
標 津 町	133	73		73					73	60		60					60
標 津	78	47		47					47	31		31					31
川 北	21	8		8					8	13		13					13
東 浜	4	4		4					4								
忠 類	5	5		5					5								
薰 別	9	6		6					6	3		3					3
古 多 糠	3	2		2					2	1		1					1
浜 古 多 糠	1									1		1					1
崎 無 異	1									1		1					1
農 家 地 区	11	1		1					1	10		10					10
別 海 町	256	214		86	3		125		214	42	5	30			7	7	35
別 海	81	70		37	2		31		70	11	3	3			5		11
尾 岱 沼	27	22		11			11		22	5		5					5
西 春 別 駅 前	40	31		10	1		20		31	9	1	7			1	3	6
中 西 別	14	13		4			9		13	1		1					1
上 風 連	6	5		2			3		5	1		1					1
奥 行	2	1		1					1	1		1				1	
走 古 丹	8	7					7		7	1		1					1
本 別 海	9	6		3			3		6	3		3					3
床 丹	7	6		6					6	1	1						1
中 春 別	23	20		2			18		20	3		3					3
美 原	2	2					2		2								
豊 原	2	2					2		2								
上 春 別	17	14		2			12		14	3		2			1		3
西 春 別	14	11		5			6		11	3		3				3	
本 別	1	1		1					1								
大 成	1	1		1					1								
泉 川	2	2		1			1		2								
羅 白 町	130	108		106		2			108	22		22				15	7
幌 萌 ~ 松 法	48	39		38		1			39	9		9				7	2
礼 文 ~ 共 栄	47	41		40		1			41	6		6				4	2
峰 浜 (一部幌萌)	5	3		3					3	2		2					2
湯 ノ 沢	1	1		1					1								
共 栄	2	2		2					2								
海 岸	18	16		16					16	2		2				2	
岬	9	6		6					6	3		3				2	1

# 消防無線及び通信設備等の状況

(令和4年4月1日現在)

種別  地域名	消 防 無 線													有線電話等及びその他の設備									
	無 線 局 数					無 線 機 台 数					そ の 他												
	基 地 局	固 定 局	携 帯 基 地 局	無 線 呼 出 局	移 動 局	基 地 ・ 固 定 用	車 載 用		携 帯 型			据 置 型 受 令 機	携 帯 型 受 令 機	消 防 信 号 受 信 機	無 線 機 用 非 常 電 源	一 一 九 番 受 信 回 線	一 一 九 番 衛 星 回 線	有 線 電 話 回 線	外 部 機 関 用 専 用 回 線	消 防 信 号 用 回 線	消 防 サ イ レ ン 装 置	シ ス テ ム 装 置	緊 急 通 報 回 線
							車 載 型	車 載 携 帯 型	10 W	5 W	1 W												
中標津町	中標津	1	5			35	7	18						1	4	10	1		1			1	
	計根別	1	2			7	4	3						1		2							
	中央武佐		1			2	1	1								1							
	上武佐		1			2	1	1								1							
	その他																						
小計	2	9			46	13	23							2	4	14	1		1			1	
標津町	標津	1	1			19	7	10		1	8			1	5	2				2			
	茶志骨																						
	伊茶仁																						
	忠別	1				2		1														1	
	薫北					5		4															
	川多糠					2		1															
	古無異																						
	崎古多糠																						
小計	2	1			28	7	16		1	11			1	5	2				2				
別海町	別海	1	3			42	10	24		1	16			1	4	17							
	中西別		1			1	1	1								1							
	本別海		1			2	1	1		1						1							
	走古丹		1			2	1	1		1						1							
	尾岱沼	1	2			8	6	6		1	2			1		1							
	中春別		1			2	1	2								1							
	上春別		1			2	1	2								1							
	西春別		1			1	1	1								1							
	西春別駅前	1	1			9	6	6		1	2			1		2							
	上風連		1			1	1	1								1							
	床丹		1			2	1	1		1						1							
	小計	3	14			72	30	46		6	20			3	4	28							
羅臼町	峯浜～幌萌					2		1											1	1			
	春日～松法					4		2											2	3			
	礼文～共栄	1				17	2	9						2	8	4			1	2			
	海岸	1				2	1	1						1					1	1			
	岬	1				2	1	1						1					1	1			
	小計	3				27	4	14						4	8	4			6	8			
合計	10	24			173	54	99		6	21	49			10	21	48	1	6	11			1	

救急・救助

# 救急出動件数

(令和3年中)

区 分	合計	救急事故種別													備考	
		火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				
												転院搬送	医師搬送	資機材搬送		その他
中 標 津	救急出場件数	784				33	10	5	76	4	9	480	155	4		8
	傷病者搬送件数	733				28	10	5	72	3	8	453	154			
	不搬送件数	51				5			4	1	1	27	1	4		8
	搬送人員	736				30	10	5	73	3	8	453	154			
標 津	救急出場件数	180			1	7	2		28		3	85	53			1
	傷病者搬送件数	170			1	5	2		27		1	80	53			1
	不搬送件数	10				2			1		2	5				
	搬送人員	172			1	6	2		28		1	80	53			1
別 海	救急出場件数	582	3			22	12	3	69		6	309	147	7		4
	傷病者搬送件数	551	2			17	12	3	69		1	300	146			1
	不搬送件数	31	1			5					5	9	1	7		3
	搬送人員	552	2			18	12	3	69		1	300	146			1
羅 臼	救急出場件数	207			2	9	7		20		1	126	41	1		
	傷病者搬送件数	196			1	7	6		20			121	41			
	不搬送件数	11			1	2	1				1	5		1		
	搬送人員	198			1	7	8		20			121	41			
合 計	救急出場件数	1,753	3		3	71	31	8	193	4	19	1,000	396	12		13
	傷病者搬送件数	1,650	2		2	57	30	8	188	3	10	954	394			2
	不搬送件数	103	1		1	14	1		5	1	9	46	2	12		11
	搬送人員	1,658	2		2	61	32	8	190	3	10	954	394			2

## 救助体制等

(令和4年4月1日現在)

区 分	救 助 隊 数				救 助 隊 員 数				救助工作車
	基準隊数	現 有 隊 数			基準隊員数	現 有 隊 員 数			
		専 任 兼 任	計			専 任 兼 任	計		
		救 助 隊	救 助 隊			救 助 隊 員	救 助 隊 員		
省令第3条に定めるもの	4		2	2	60		49	49	2
省令第4条に定めるもの									

## 救助出動件数

(令和3年中)

種 別 区 分	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	そ の 他 の 事 故	計
	建 物	建 物 以 外								
出 動 件 数			11	1	1		1		3	17
活 動 件 数			5	1	1				1	8

## 救助出動人員数

(令和3年中)

種 別 区 分	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	そ の 他	計
	建 物	建 物 以 外								
出 動 人 員	専任救助隊員									
	兼任救助隊員		40	5			1		7	53
	消防隊員		22	3	10		2		9	46
	救急隊員		49	3	4		3		10	69
	消防団員									
	計			111	11	14		6		26
活 動 人 員	専任救助隊員									
	兼任救助隊員		15	5						20
	消防隊員		7	3	10				6	26
	救急隊員		15	3	4				3	25
	消防団員									
	計			37	11	14				9

# 火災統計



## 火災発生件数

(令和3年中)

区分	構成町	小計	火災の種類																
			建物	左の用途別内訳										林野	車両	船舶	航空機	その他	
				住宅	飲食店	百貨店	ホテル	共同住宅	福祉施設	学校	工場	倉庫	その他						
出火件数	中標津	8	7	2									1	4					1
	標津	2	2	1							1								
	別海	11	5	2							1	1	1			4			2
	羅臼	2	1										1				1		
	計	23	15	5							2	2	6			4	1		3
死者数	中標津																		
	標津																		
	別海	1	1	1															
	羅臼																		
	計	1	1	1															
負傷者数	中標津																		
	標津																		
	別海	3	2							1	1				1				
	羅臼	3															3		
	計	6	2							1	1				1	3			

## 月別火災発生件数

(令和3年中)

月別 構成町		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
		中標津	2			2		1				2	1	
標津								1		1				2
別海	1		2	1	3	1		1		1	1			11
羅臼						1		1						2
合計	3		2	3	3	3	1	2	1	3	2		23	

## 出火時間別火災発生件数

時間	焼失区分								建物の焼 損床面積 m <sup>2</sup> (表面積)	損害額 千円	
	建物火災				林 野 火 災	車 両 火 災	船 舶 火 災	そ の 他 火 災			計
	小 計	住 宅	共 同 住 宅	そ の 他							
0											
1											
2											
3											
4	1	1						1	15	372	
5											
6	1			1				1	312(11)	2,046	
7								1	(7)		
8											
9						1		1		1,063	
10	1			1				1	27	791	
11	1			1				1	(47)	150	
12	1	1						1	282	9,323	
13	1	1				1		1	3	2,288	
14						1	1	2		2,040	
15	2			2		1		3	154(32)	5,191	
16											
17								1	1		
18	2	1		1				2	(23)	79	
19	2			2				2	148(10)	28,413	
20	2			2				2	47(1)	864	
21											
22	1	1						1	1	59	
23											
合計	15	5		10		4	1	3	23	1,112(131)	52,679

焼 損 面 積		
区分	建物 m <sup>2</sup>	林野 a
構成町		
中標津	631	
標 津	1	
別 海	453	
羅 臼	27	
計	1,112	

区分	焼 損 むね数 (棟)	り 災 世帯数
構成町		
中標津	15	4
標 津	2	1
別 海	8	4
羅 臼	1	
計	26	9

火 災 損 害 額 (千円)	
中標津	43,701
標 津	62
別 海	6,205
羅 臼	2,711
計	52,679

## 主な原因

たばこ	1	排気管	1	灯	1	火	1
こんろ		電気機器	1	衝突		の	
かまど		電気装置		取		火	2
風呂		電灯・電話等の配線		火		入	
炉		内燃機関		放		れ	
焼却炉		配線器具		放		火	
ストーブ	2	火遊び		そ		の	5
こたつ		マッチ・ライター		不		明	9
ボイラー		たき火		明		・	
煙突・煙道	1	溶接機・切断機	1	合		計	23

予防・危険物

## 危険物製造所等の施設数

(令和4年4月1日現在)

製造所等の別		構成町				計
		中標津	標津	別海	羅臼	
貯蔵所	屋内貯蔵所	6	1	7		14
	屋外タンク貯蔵所	8	11	21	8	48
	(準特定)				(1)	(1)
	屋内タンク貯蔵所	2	2	2		6
	地下タンク貯蔵所	50	22	66	15	153
	簡易タンク貯蔵所					
	移動タンク貯蔵所	48	17	53	17	135
	屋外貯蔵所		2	2		4
	小計	114	55	151	40	360
取扱所	給油取扱所	29	14	28	8	79
	(うち自家用給油取扱所)	(13)	(6)	(10)	(4)	(33)
	移送取扱所					
	販売取扱所					
	一般取扱所	15	21	23	7	66
	小計	44	35	51	15	145
合計		158	90	202	55	505

## 危険物製造所等処理状況

(令和3年中)

区分	処 理 件 数					
	設置許可	変更許可	完成前検査	完成検査	仮使用	廃止
製造所						
屋内貯蔵所						
屋外タンク貯蔵所		4		4	1	1
屋内タンク貯蔵所	1			1		
地下タンク貯蔵所	2			2		1
簡易タンク貯蔵所						
移動タンク貯蔵所	5	7		10		10
屋外貯蔵所						
給油取扱所		4		4	3	
一般取扱所	2	1		3	1	
合計	10	16		24	5	12

## 各種届出書処理状況

(令和3年中)

No.	種 別	中標津	標 津	別 海	羅 臼	計
1	喫煙、裸火使用又は危険物品持込承認申請	10				10
2	防火対象物使用開始(変更)届出	35	9	18	7	69
3	炉・厨房設備設置届出		1			1
4	温風暖房機・ボイラー設置届出	4	1	2	3	10
5	乾燥設備設置届出	2				2
6	サウナ設備設置届出			1		1
7	給湯湯沸設備設置届出		1	1		2
8	燃料電池発電設備設置届出					0
9	ヒートポンプ冷暖房機設置届出		1			1
10	火花を発生する設備設置届出					0
11	放電加工機設置届出					0
12	変電設備設置届出	8	1	4	1	14
13	内燃機関を原動力とする発電設備設置届出	5		3	1	9
14	蓄電池設備設置届出	6	2	4	2	14
15	ネオン管灯設備設置届出					0
16	水素ガスを充填する気球設置届出					0
17	煙・火炎を発生する行為の届出	23	1	14	87	125
18	煙火打上げ・仕掛けの届出	5	1	3	1	10
19	催物の開始届出					0
20	水道断水・減水届出					0
21	道路工事届出	48	19	48	6	121
22	煙突取付・掃除業届出					0
23	燃焼機器分解掃除整備業届出			1		1
24	消防用設備等工事・整備・販売業届出	1				1
25	指定洞道等届出					0
26	少量危険物・指定可燃物貯蔵取扱届出	18	9	8	3	38
27	少量危険物・指定可燃物貯蔵廃止届出		3			3
28	防火管理業務教育担当者選任・解任届出		10			10
29	共同防火管理協議事項の届出					0
30	露店等の開設届出		2	1		3
合 計		165	61	108	111	445

# 防火対象物状況

(令和4年4月1日現在)

防火対象物の別 (令別表1)			構成町	中 標 津	標 津	別 海	羅 白	計
項別	特定	防火対象物の用途等						
(1)	イ	● 劇場、映画館、演芸場又は観覧場		1				1
	ロ	● 公会堂又は集会場		4	7	9	2	22
(2)	イ	● キャバレー、カフェ、ナイトクラブその他これらに類するもの						0
	ロ	● 遊技場又はダンスホール		5		1	1	7
	ハ	● 風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律第二条第五項に規定する性風俗関連特殊営業を営む店舗、その他これに類するものとして総務省令で定めるもの						0
	ニ	● カラオケボックスその他遊興のための設備又は物品を個室において客に利用させる役務を提供する業務を営む店舗で総務省令で定めるもの		1				1
(3)	イ	● 待合、料理店その他これらに類するもの						0
	ロ	● 飲食店		31	7	10	2	50
(4)		● 百貨店、マーケットその他の物品販売業を営む店舗又は展示場		72	11	38	7	128
(5)	イ	● 旅館、ホテル、宿泊所その他これらに類するもの		29	10	12	17	68
	ロ	- 寄宿舎、下宿又は共同住宅		422	24	177	15	638
(6)	イ	● (1) 診療科目中に特定診療科名を有する病院。医療法第7条第2項第4号に規定する療養病床又は同項第5号に規定する一般病床を有する病院			1			
		● (2) 診療科名中に特定診療科名を有する診療所。4人以上の患者を入院させるための施設を有する診療所					1	
		● (3) 病院（(1)に掲げるものを除く。）、患者を入院させるための施設を有する診療所（(2)に掲げるものを除く。）又は入所施設を有する助産所		2			1	
		● (4) 患者を入院させるための施設を有しない診療所又は入所施設を有しない助産所		6			5	1
	ロ	● (1) 老人短期入所施設、養護老人ホーム、特別養護老人ホーム等その他これらに類するものとして総務省令で定めるもの		7	5	5	3	21
		● (2) 救護施設						
		● (3) 乳児院						
		● (4) 障害児入所施設						
		● (5) 障害者支援施設					1	
	ハ	● (1) 老人デイサービスセンター、軽費老人ホーム等その他これらに類するものとして総務省令で定めるもの		3	3	3	3	
		● (2) 更生施設						
		● (3) 助産施設、保育所、児童養護施設、児童自立支援施設、児童家庭支援センター、その他これらに類するものとして総務省令で定めるもの		4	2	9		
● (4) 障害児施設			1					
● (5) 障害者施設			9	1	5		15	
ニ	● 幼稚園又は特別支援学校		10		6	1	17	
(7)	- 小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、高等専門学校、大学、専修学校、各種学校その他これらに類するもの		9	5	18	3	35	
(8)	- 図書館、博物館、美術館その他これらに類するもの		1	4	5	4	14	
(9)	イ	● 公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場その他これらに類するもの				1		1
	ロ	- イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場				1	2	3
(10)	- 車両の停車場又は船舶若しくは航空機の発着場		3				3	
(11)	- 神社、寺院、教会その他これらに類するもの		15	7	16	4	42	
(12)	イ	- 工場又は作業場		151	31	133	33	348
	ロ	- 映画スタジオ又はテレビスタジオ						0
(13)	イ	- 自動車車庫又は駐車場		31		26		57
	ロ	- 飛行機又は回転翼航空機の格納庫		1		1		2
(14)	- 倉庫		193	4	154	151	502	
(15)	- 前各項に該当しない事業所		385	41	173	36	635	
(16)	イ	● 複合用途防火対象物のうち、その一部が(1)項から(4)項まで、(5)項イ、(6)項又は(9)項イに掲げる防火対象物の用途に供されているもの		114	13	68	37	232
	ロ	- イに掲げる複合用途防火対象物以外の複合用途防火対象物		76	2	31	12	121
(16の2)	● 地下街						0	
(16の3)	● 建築物の地階で連続して地下道に面して設けられたものと当該地下道とを合わせたもの						0	
(17)	- 文化財保護法の規定によつて重要文化財、重要有形民俗文化財、史跡若しくは重要な文化財として指定され、又は旧重要美術品等の保存に関する法律の規定によつて重要美術品として認定された建造物			1	1		2	
(18)	- 延長50メートル以上のアーケード							
(19)	- 市町村長の指定する山林							
(20)	- 総務省令で定める舟車							
合 計				1,586	180	911	333	2,977

防火管理者該当対象物状況

(令和4年4月1日現在)

防火対象物の別（令別表1）			中標津		標津		別海		羅白		計		
項別	特定	防火対象物の用途等	甲種	乙種	甲種	乙種	甲種	乙種	甲種	乙種	甲種	乙種	
(1)	イ	● 劇場、映画館、演芸場又は観覧場	1								1		
	ロ	● 公会堂又は集会場	4		7		9	1	2		22	1	
(2)	イ	● キヤパレ、カフェ、ナイトクラブその他これらに類するもの											
	ロ	● 遊技場又はダンスホール	5	1			1		1		7	1	
	ハ	● 風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律第二条第五項に規定する性風俗関連特殊営業を営む店舗、その他これに類するものとして総務省令で定めるもの											
	ニ	● カラオケボックスその他遊興のための設備又は物品を個室において客に利用させる役務を提供する業務を営む店舗で総務省令で定めるもの		1								1	
(3)	イ	● 待合、料理店その他これらに類するもの											
	ロ	● 飲食店	11	18	4		3	5		1	18	24	
(4)		● 百貨店、マーケットその他の物品販売業を営む店舗又は展示場	38	8	6	3	15	3	4	1	63	15	
(5)	イ	● 旅館、ホテル、宿泊所その他これらに類するもの	14		7	2	9		10	2	40	4	
	ロ	- 寄宿舎、下宿又は共同住宅	4				3				7		
(6)	イ	● (1) 診療科目中に特定診療科名を有する病院。医療法第7条第2項第4号に規定する療養病床又は同項第5号に規定する一般病床を有する病院					1				1		
		● (2) 診療科名中に特定診療科名を有する診療所。4人以上の患者を入院させるための施設を有する診療所							1		1		
		● (3) 病院（(1)に掲げるものを除く。）、患者を入院させるための施設を有する診療所（(2)に掲げるものを除く。）又は入所施設を有する助産所	2				1					3	
		● (4) 患者を入院させるための施設を有しない診療所又は入所施設を有しない助産所	4									4	
	ロ	● (1) 老人短期入所施設、養護老人ホーム、特別養護老人ホーム等その他これらに類するものとして総務省令で定めるもの	7		5		5		3		20		
		● (2) 救護施設											
		● (3) 乳児院											
		● (4) 障害児入所施設											
		● (5) 障害者支援施設					1				1		
	ハ	● (1) 老人デイサービスセンター、軽費老人ホーム等その他これらに類するものとして総務省令で定めるもの	1		2		2		2	1	7	1	
		● (2) 更生施設											
		● (3) 助産施設、保育所、児童養護施設、児童自立支援施設、児童家庭支援センター、その他これらに類するものとして総務省令で定めるもの	3	2	2		4			1	9	3	
● (4) 障害児施設													
● (5) 障害者施設		2	1			2				4	1		
ニ	● 幼稚園又は特別支援学校	6				4		1		11			
(7)	- 小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、高等専門学校、大学、専修学校、各種学校その他これらに類するもの	8		5		12		3		28			
(8)	- 図書館、博物館、美術館その他これらに類するもの			2	2	2	1	2	1	6	4		
(9)	イ	● 公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場その他これらに類するもの											
	ロ	- イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場				1		1			2		
(10)	- 車両の停車場又は船舶若しくは航空機の発着場	1								1			
(11)	- 神社、寺院、教会その他これらに類するもの	10		5	2	9		2	1	26	3		
(12)	イ	- 工場又は作業場			4		7				11		
	ロ	- 映画スタジオ又はテレビスタジオ											
(13)	イ	- 自動車車庫又は駐車場											
	ロ	- 飛行機又は回転翼航空機の格納庫											
(14)	- 倉庫												
(15)	- 前各項に該当しない事業所	18	8	12	8	30	7	6	1	66	24		
(16)	イ	● 複合用途防火対象物のうち、その一部が(1)項から(4)項まで、(5)項イ、(6)項又は(9)項イに掲げる防火対象物の用途に供されているもの	45	5	10		13	12	18	3	86	20	
	ロ	- イに掲げる複合用途防火対象物以外の複合用途防火対象物	7				1				8		
(16の2)	● 地下街												
(16の3)	● 建築物の地階で連続して地下道に面して設けられたものと当該地下道とを合わせたもの												
(17)	- 文化財保護法の規定によつて重要文化財、重要有形民俗文化財、史跡若しくは重要な文化財として指定され、又は旧重要美術品等の保存に関する法律の規定によつて重要美術品として認定された建造物			1		1				2			
(18)	- 延長50メートル以上のアーケード												
(19)	- 市町村長の指定する山林												
(20)	- 総務省令で定める舟車												
合 計			191	44	73	18	134	30	55	12	453	104	

## 消防用設備等設置対象物数

(令和4年4月1日現在)

項 目		中標津	標 津	別 海	羅 臼	計
消 防 用 設 備	自動火災報知設備	458	110	263	118	949
	スプリンクラー設備	14	6	8	3	31
	屋内消火栓設備	110	23	50	22	205
	漏電火災警報器	56	19	40	14	129
	非常警報設備	129	24	88	12	253
	屋外消火栓設備	15	2	1		18
	避難器具	53	8	23	12	96
	誘導灯	559	69	218	97	943
	動力消防ポンプ設備	7	5	2	6	20
	連結送水管	4		4	1	9
	非常電源	51	13	38	10	112
	消防機関へ通報する火災報知設備	209	73	286	36	604
そ の 他	点検報告を要する対象物	1,402	180	852	346	2,780
	建築同意	28	4	2	2	36
	防災物品対象物	130	60	205	78	473



協力団体  
応援協定

## 協力団体

### 1. 消防少年婦人防火委員会

(令和4年4月1日現在)

名 称	設立年月日	所 在
根室北部消防少年婦人防火委員会	S61. 8. 1	中標津町丸山2丁目22番地

### 2. 幼年消防クラブ

(令和4年4月1日現在)

団 体 名	設立年月日	所 在
町立中標津保育園幼年消防クラブ	S59. 4. 1	中標津町東3条北3丁目
別海くるみ幼稚園幼年消防クラブ	S60. 9. 11	別海町別海旭町206番地
町立標津認定こども園あおぞら幼年消防クラブ	H 6. 4. 1	標津町南2条西4丁目1番3号
町立川北認定こども園にじいろ幼年消防クラブ	H 7. 4. 1	標津町字川北93-21
しれとこ幼年消防クラブ	H 9. 4. 1	羅臼町緑町301番地
春松幼年消防クラブ	H23. 4. 1	羅臼町八木浜町497番地

### 3. 婦人防火クラブ

(令和4年4月1日現在)

団 体 名	設立年月日	所 在
東中婦人防火クラブ	S61. 4. 1	中標津町東14条北4丁目
西春別駅前女性防火クラブ	S61. 4. 24	別海町西春別駅前寿町147番地
武佐婦人防火クラブ	S61. 10. 1	中標津町字武佐南9線西1-3
計根別婦人防火クラブ	H 2. 9. 3	中標津町計根別本通西2丁目9

### 4. 危険物安全協会

(令和4年4月1日現在)

名 称	設立年月日	所 在
根室北部危険物安全協会	S62. 12. 10	中標津町丸山2丁目22番地

## 応援協定

### 消防相互応援協定

(令和4年4月1日現在)

協 定 名	相 手 方	施行年月日
北海道広域消防相互応援協定	道内57消防本部	H 3. 4. 1
船舶消火に関する業務協定	根室海上保安部・羅臼海上保安署	S58. 10. 1
空港・航空機事故に伴う消火救難活動に関する協定	釧路総合振興局釧路建設管理部	H 2. 4. 1